

**あけましておめでとうございます。**おだやかな新年でしたが、皆様はどのように迎えられましたでしょうか。2014

年は、ヴォーリズ六甲山荘（1934年築）が築80年にあたり、またヴォーリズの没後50年という節目の年になります。ヴォーリズ六甲山荘という貴重な文化財を守り伝えていく責任を引き受けて間もなく6年。おかげさまで会員の皆さまの有形無形のお力添えを得て、無事に責務を果たしてこられました。このあらたな年も力をあわせて進んでいきましょう。

**お知らせ**

- ・新年会 2014年1月13日（月・祝） 草志舎
- ・畑儀文の合唱教室 1月20日（月） 草志舎
- ・六甲山荘作業 1月25日（土）
- ・下期セミナー 第2回 2月15日（土） 奈良町
- ・畑儀文の合唱教室 2月17日（月） 草志舎
- ・六甲山荘作業 2月22日（土）
- ・六甲山荘作業 3月15日（土）
- ・畑儀文の合唱教室 3月17日（月） 草志舎
- ・下期セミナー 第3回 3月22日（土） 西宮市甲陽園目神山
- ・六甲山荘作業&研修 3月29日（土）
- ・六甲山荘公開準備 4月4日（金）
- ・第7回英国ナショナル・トラストの旅 6月9日（月）～17日（火） アイルランド&ウェールズ



雪の六甲山荘

**予告1****新年会**

恒例の新年会をつぎのように開きます。

日時 **2014年1月13日（月・祝） 12時半**

場所 草志舎（阪急西宮北口駅から徒歩3分）

参加費 1,500円（飲み物、食べ物の差し入れ大歓迎!）

年のはじめににぎやかに食べたり飲んだりしゃべったりして楽しくすごしましょう。日頃すれちがいの多い会員同士が顔をあわせるいい機会です。どんどご参加ください。

参加ご希望の方は1月11日までにご連絡ください。

**予告2****第7回英国ナショナル・トラストの旅**

お待たせいたしました。英国のナショナル・トラストのプロパティを訪ねる旅のご案内です。アイルランド共和国の一部と英国のウェールズ地方をまわります。アイルランドにもナショナル・トラストの組織があり、両方で15か所のプロパティを訪問する予定です。アイルランドからウェールズにはフェリーで渡ります。船旅も楽しいですね。また今回はナショナル・トラスト所有のマナーハウス・ホテル（右の写真）の宿泊も魅力の一つです。



詳しくは同封の案内チラシをごらんください。大勢のご参加お待ちしております。

- ・旅行期間 **2014年6月9日（月）～17日（火）**（7泊9日） 関空または成田発着
- ・訪問先 アイルランド共和国、英国ウェールズ地方
- ・航空会社 KLMオランダ航空
- ・定員 25名（但し 最少催行人員15名）
- ・参加費 会員 399,000円 一般 409,000円（関空発着、成田発着、同料金）  
一人部屋追加料金88,000円

## ご報告2 畑儀文の合唱教室

冬の歌から始まったレッスンは元気につづきました。みんなと声をあわせて歌う楽しさは「プチ幸せタイム」だと言われる方もあります。最初はむずかしいかなあと感じた歌も、最後にはのびのびと歌えるようになるのが、練習のたまもの。病みつきになりますね。

### 【コラム】

### 高齢者からの発言

清水 彬久

当協会が創設された当時は、諸先輩がたくさんおられ活動メンバーでは私など若手の部類でありました。それから10年以上の年月が経過しますと、高齢者と呼ばれる世界に仲間いりをしてしまいました。帽子をかぶり白髪頭をかくしていても席を譲られることが時々起り、本人も優先席に座ることも抵抗がなくなっている始末です。最近手の指にしびれが出てきたので、診察をしてもらうと医師から診断表を見せられ、「いくつかの原因がありますが、あなたの場合は、これで、加齢によって肘の変形が神経を圧迫しているものです」と示されました。外形だけでなく、内部も老化してきているかと、強がりだけでは対処できない老いが身近になってくるのを感じてきたのです。ところが、104歳になる母との会話のなかで、「最近ね、物忘れがひどくなってきたのよ、どうも老境の域に入ってきた感じ」という発言があったのです。この達観したような煙に巻いた迷言は、その若さで何をぶつぶつ言っているのですか、もうしばらくは頑張りなさいよと奮い立たせてくれる激励の言葉に聞こえてくるのでした。母の存在はいつまでも偉大であります。

気力が戻ったところで、今年の重要な活動となることを思い巡らしていきますと、幾つかあります。まずはヴォーリズ六甲山荘です。1934年(昭和9)に建築されましたから、丁度80歳となる節目にあたります。山荘は、風雪に耐えて見事に創建当時の姿を維持しているヴォーリズの代表する山荘建築です。この機により認知されるために特別公開等の企画を進めていきたいと思えます。皆さんも応援ください。そして次には、数年に亘って検討を重ねてきました認定NPO法人の取得のための申請を、兵庫県にすることにしています。これが認可されますと、多くの方からいただいています寄付金が寄付者の所得税から税額控除される恩典がうけられることとなります。実現することで公共性の高い法人と評価され、事業基盤は強化されることとなります。朗報をお待ちください。最後に、新しい試みについてです。私たちは、ヴォーリズ六甲山荘や旧乾邸という文化財の保存活動に携わり成果を得ることができました。しかし一方で数多くの文化財が生命を終えるという残念な事態が起ってきています。それには色々な要因があることでしょう。それらの問題点を明らかにして、新たな展望を探るために文化遺産継承協議会を発足させることにしています。今までの活動を一步前進させていくことになればと願っています。

これらの事業は、当協会が今まで以上に社会的な貢献を果たしていくための礎になるものばかりです。今年度スタートしましたトラスト・ユース・センターを充実させていくこと等を併せて、今年も当協会を盛り上げていただければと存じます。

### 予告3

### 2013年度下期セミナー 「景観保存を探求する」

#### ・第2回 2月15日(土) 「奈良町」

すでに32名のお申込みをお受けしております。定員まであとわずかです。

集合 13:00 近鉄奈良駅 行基噴水前

行程 聖公会奈良教会(和風教会、見学・説明)・南都銀行本店・旧遊郭明秀館  
・墨の老舗古梅園・奈良町物語館(奈良町についての解説)・元興寺  
(世界遺産)の門前・奈良市格子の家・旧奈良市ならまち振興財団  
(和洋折衷・大正建築)

オプション 昼食

参加費 第2回のみ 会員2000円、一般2500円



聖公会奈良教会

#### ・第3回 「西宮市甲陽園目神山地区」(都市景観大賞受賞地区)

すでに25名のお申込みをお受けしております。定員まであとわずかです。参加ご希望で申し込みのまだの方はお早目にご連絡ください。

月日 3月22日(土)

定員 30名(但し連続希望者優先)

参加費 第3回のみ: 会員1500円 一般2000円

詳細については参加お申込み者に後日ご案内いたします。



## トラスト・ユース・センター第Ⅱ期生募集

当協会の将来を担う人材を育てていこうという主旨でたちあげたトラスト・ユース・センターには昨年は福井啓太さんと小林由佳さんの二人が入会してくださいました。二人とも六甲山荘のスタッフはもちろん、ワーキングホリデーの運営に実力をしっかり発揮してくれました。この二人に続く若い会員を今年も募集します。

具体的には六甲山荘のスタッフやセミナーに参加し、夏のワーキングホリデーの企画運営などに力を発揮してもらいたいと期待しています。こうした活動に興味のある学生さんには、実践を通して経験が身につくという、大変貴重な体験ができます。

お知り合いの学生さんにどうぞお声をおかけください。募集要項はこのアメニティ便りに同封しています。もっと必要な場合は事務局にご連絡ください。お送りいたします。

## ◇◆◇おしゃべりアラカルト◇◆◇

### 鯖街道の旅

清水 順子

年に一度泊りがけで出かける町並み研究会、今年は、1日目：舞鶴（五老タワー、レンガ倉庫群）→美山町（かやぶきの里・宿泊） 2日目：小浜（町並み散策と工芸体験）→熊川宿→近江今津（ヴォーリス建築）という豪華な行程です。（企画でご苦労された谷本さん、ありがとうございました！）

初日、五老タワーからの舞鶴の景観はさすが近畿百景第1位に選ばれるだけのことはあります。でも入り組んだ入江の海と山の迫りあうすばらしい景色も、それが天然の良港となって軍港となり、引き上げ船の港にもなったのだと考えると、単純に景色を愛でることができなくなります。いくつも並んで壮観の大きなレンガ倉庫も、中にぎっしり詰め込まれていた兵器を日露戦争で使い切ったと聞くと、背筋がヒヤッとします。今も灰色に塗装した海上自衛隊の船がなにげなく停泊していました。

美山町を訪ねるのは個人的には2度目でした。駐車場や土産物屋が少し整備されたばかりは茅葺の集落は以前そのまま、「日本の原風景」のおもむきです。今回はぜひいたくにも夕方と朝の二つの表情の美山に会えました。特に朝は家並みにかかった霧がながれていく様子が墨絵のようでした。

2日目は小浜から鯖街道をたどって熊川宿へ。ここは街

道ぞいにずーっと家並みが続く大きな宿場町です。街道にそって前川という川が流れています。川幅はそう広くないのですが水量がゆたかで、各家の前には「かわと」と呼ばれる洗い場があり、水力で回して芋をあらう道具がしかけてあったりします。交通の要衝とゆたかな水、長きにわたって栄えた町であることが実感されました。

近江今津にあるヴォーリス設計の今津教会は改修工事中で見ることができませんでした。また今津郵便局は閉鎖されていて、かなり荒れている印象でした。そのためなんとなく気持ちが落ち込んだところで、ヴォーリス記念館であたたかいお茶をいただき、冷えていた体が温まってほっとしました。ここはカフェを営業していて、地元の人たちにも親しく利用されているようです。「愛される建物」ヴォーリスの本領発揮ですね。

天気もよし、食事も宿もよし、土産もよし、の旅でした。



五老タワーから舞鶴を見る

### 六甲山荘たより

### 冬ごもりと水抜き

先月号でもご報告しましたが、11月23日に大掃除をして冬ごもりの準備をしました。そして11月28日（木）に給湯器の水抜きと母屋の水道栓を閉めました。これをしておかないと、水道管の凍結、破裂が必ずおこります。とくに給湯器の水抜きはパイプが複雑なため大変むずかしく、プロにお願いしてもなかなか完璧にはいきません。寒冷地に別荘をもつ悩みです。春に無事開栓できますように、と願っています。

### スタッフ募集

### 六甲山荘の冬作業

公開がお休みのあいだに、山荘の風通しをかねて作業をします。作業そのものは誰でもできるものです。暖かい服装でご参加ください。

またスタッフに温かい昼食を用意して下さる台所スタッフも募集しています。

なお3月29日はスタッフの研修を、4月4日は公開の準備をします。

1月25日（土）

2月22日（土）

3月15日（土）

29日（土）**研修もかねて**

4月4日（金）**公開準備**

《お薦めの本》

梨木 香歩著 「家守綺譚」

不思議なお話だ。古い家の庭に河童が現れる。サルスベリの木に懸想される。死んだ友人が掛軸から舟をこいで出現する。山に松茸狩りに行けば尼さんに化けた狸と遭遇する。こう書けばまるで怪奇物だが、そうではない。主人公も一応おどろきはするが、その出現にびっくりするのであって、そうした超自然の存在そのものにはまったく抵抗感はないようだ。主人公にとっても飼犬のゴローにとっても、彼らはすこし毛色のかわった隣人にすぎない。そうした交流が季節の花をキーワードにして綴られている。古来日本人は万物のなかに神をみてきたが、それとも少しちがう世界観のように感じられる。大変こちよ、呼吸のしやすい世界である。

今は文庫本がでているが、私は新刊書で読んだ。装丁もいい。(今なら和のテイストと評されるころだろう) 文章は平明で、静かななかにユーモアが織り込まれていて、ふと足をすくわれてクスッと笑ってしまう。冬休みのゆっくりした時間に、あるいは忙しい仕事のあと、夜寝る前にも、一章ずつでも読んでみてはいかがだろうか。翌日目に入るそこらへんの木や花やカラスやネコが、もしかしたら何か言ってくるかもしれない、言ってくるかこないかなあ、と思うようになったら、あなたも梨木ワールドのとりこになったということだ。

(新潮社)

**募金のご報告**～11月に次の方々から募金をいただきました。  
ありがとうございました。(敬称略)

**\* 六甲山荘ナショナル・トラスト募金**

《11月合計 32,300円 2013年度累計 407,790円》  
あしやクローバー、越智資行

**\* 教育基金**

《11月合計 5,000円 2013年度累計 25,000円》

リーフレットをご活用ください

この封筒にリーフレットを同封しています。お知り合いに協会のことを案内するのに最適の資料です。「私、今こんなことをしてます。一緒にいかが」とぜひお誘いください。もっと部数がお入用でしたらお送りいたします。

セミナー「景観保存を考える」 第1回 大原家と倉敷



有隣荘 (旧大原家別邸)



瓦屋根の続く倉敷の家並み



大原美術館前にて